

八王子センター元気20年のあゆみ

開設の趣旨と経過

八王子市は平成12年(2000年)に、町会自治会・老人クラブ・ボランティア団体・シルバー人材センター・社会教育団体の代表や学識経験者などで構成する「高齢者の社会参加のしくみづくり検討会」を発足させ、議論を重ね、平成13年3月に報告書をまとめました。

この報告書では、次の6項目を緊急に取り組むべき事業として提言しました。

- ①社会参加を支援する啓発事業
- ②生涯現役いきいき協議会の設置と団体の育成
- ③高齢者活動コーディネートセンターの開設
- ④指導者・推進者などの人材発掘と研修事業
- ⑤情報の収集と提供
- ⑥シルバー大学の開設

この提言を受け、市は平成14年8月『八王子市高齢者活動コーディネートセンター』を開設しました。

「八王子ボランティアネットワーク」(通称 八ボネット)が、八王子市の事業委託を受け、コーディネート事業は通称「センター元気」が運営してまいりました。

事業の進展に伴い陣容を拡充、更なる展開を目指して独立し、平成19年度より八王子市の委託を受けた『八王子センター元気』が運営しております。

業務内容

- ①高齢者(概ね60歳以上)講師登録業務
- ②コーディネートおよびアフターケア業務
- ③センター元気のPR
- ④町会・自治会および教育委員会等関係機関との連携・情報収集業務
- ⑤高齢者活動の相談・支援業務
- ⑥開設趣旨に添った主催事業
- ⑦その他の目的達成に必要と思われる事業



八王子センター元気20年のあゆみ

年	八王子センター元気のできごと	世の中のできごと
2002年 平成 14年	*事務所開設(旧結婚式場1階) 8月1日八王子市が「高齢者活動コーディネートセンター」を開設 *業務開始 9月1日より週3日(月、水、金) 八王子ボランティアネットワーク(ハボネット)が運營業務受託 *大岡平八郎氏初代代表に就任  開設時の事務所外観 (旧結婚式場)	*開設当時の八王子市長 黒須隆一氏 *北朝鮮拉致被害者5名帰国 *小柴、田中氏ノーベル賞受賞
2003年 平成 15年	*広報紙「げんき」創刊号発行 *福祉施設訪問活動開始  「げんき」創刊号  初期の運営委員会	*米英軍イラク空爆 *小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ *映画「千と千尋の神隠し」にアカデミー賞
2004年 平成 16年	*ホームページ開設 *第1回 講師・コーディネーターとの意見交換会 *「男の料理教室」計7回実施 *健康講座開催 「老化に負けない食と健康」  男の料理教室	*自衛隊イラク派遣開始 *アテネオリンピック開催 *新潟県中越地震発生
2005年 平成 17年	*「男の料理教室」計5回実施 *第2回 講師・コーディネーターとの意見交換会開催  講師・コーディネーター意見交換会	*愛知万博開催 *JR 福知山線脱線事故発生 *日本の人口、統計史上初の自然減
2006年 平成 18年	*第1回 傾聴ボランティア養成講座開催 *第1回「明治・大正・昭和が集う歌の会」開催 *第1回 傾聴ボランティアスキルアップ講座開催 *花まつりイベントに「ちぎり絵」出展 (夕やけ小やけふれあいの里にて)  明治・大正・昭和が集う歌の会	*ジャワ島中部地震発生 *八王子城、日本100名城に選定



八王子センター元気20年のあゆみ

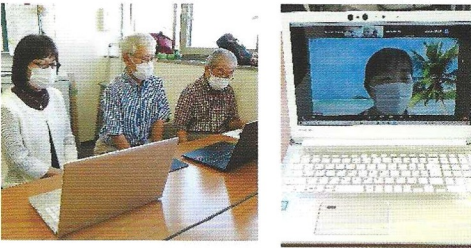
年	八王子センター元気のできごと	世の中のできごと
2007年 平成 19年	*「八王子センター元気」が八ボネットから独立して業務を継承 *鹿又ワカ氏代表に就任 *認知症サポーター養成講座開催 *車いす講習会開催 *八王子七夕まつりに参加 *八王子いちよう祭りに参加  認知症サポーター養成講座	*第1回東京マラソン開催 *「みどりの日」が「昭和の日」に移行 *郵政民営化
2008年 平成 20年	*認知症・介護に関する講演会開催「介護する人、される人」 *車いす講習会開催 *第8回 お父さんお帰りなさいパーティーに参加  認知症・介護講演会	*後期高齢者医療制度施行 *北京オリンピック開催 *小林、益川、南部、下村氏ノーベル賞受賞
2009年 平成 21年	*狩野雄一郎氏代表に就任 *第1回 むかし若ものふれあい作品展開催 *コーディネーター交流会開催 *音楽療法講習会を共催(全6回)  第1回むかし若ものふれあい作品展	*裁判員制度施行 *国際宇宙ステーション「きぼう」完成 *スマトラ島沖大地震発生
2010年 平成 22年	*第8回 シニア元気塾基礎講座(支援) *第1回 傾聴ボランティア懇談会開催 *第2回 むかし若ものふれあい作品展開催  第1回傾聴ボランティア懇談会	*小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還 *鈴木、根岸氏ノーベル賞受賞
2011年 平成 23年	*第8回 シニア元気塾実践講座(支援) *第1回 ボランティア養成講座開催 *第3回「むかし若ものふれあい作品展」開催(市社会福祉協議会共催)  第1回ボランティア養成講座	*東日本大震災発生 *小笠原諸島、世界自然遺産登録 *八王子市景観条例制定



八王子センター元気20年のあゆみ

年	八王子センター元気のできごと	世の中のできごと
2012年 平成 24年	*第9回 シニア元気塾実践講座開催 *平成23年度地域づくり総務大臣表彰受賞(仙台にて) *開設10周年記念イベント開催  地域づくり総務大臣表彰受賞	*八王子市長に石森孝志氏が就任 *東京スカイツリー開業 *ロンドンオリンピック開催 *山中氏ノーベル賞受賞
2013年 平成 25年	*伊藤涼子氏代表に就任 *広報紙「げんき」フルカラー化(第37号) *第1回 拓け! センター 元気開催 *東京国体への協力に対して八王子市長より感謝状  第1回拓け! センター元気	*富士山、世界遺産登録 *四万十市で気温41.0度を記録 *出雲大社と伊勢神宮がそろって式年遷宮
2014年 平成 26年	*シニア元気塾ボランティア入門講座開催(旧基礎講座) *段階的に事務所運営日変更(週3日→4日→5日) *第1回 三者懇談会開催(技能ボランティア、利用者、コーディネーターが参加)  シニア元気塾ボランティア入門講座	*富岡製糸場、世界遺産登録 *御嶽山大噴火発生 *赤崎、天野、中村氏ノーベル賞受賞
2015年 平成 27年	*シニア元気塾コーディネーター養成講座開催(旧実践講座) *6月新事務所へ移転(現大横保健福祉センター) *八王子センター元気の歌制作 *第1回 いきいき活動展に参加(市福祉部高齢者いきいき課主催)  大横保健福祉センター開館式	*八王子市が都内初の中核市に移行 *高尾599ミュージアムオープン *梶田、大村氏ノーベル賞受賞
2016年 平成 28年	*東京純心大学との「協働に関する申し合わせ書」に調印 *東京純心大学「マリア祭」に参加 *第1回 大横保健福祉センターまつりに参加・支援 *まちなか避暑地に参加(大横保健福祉センター主催) *八王子市民活動フェスティバル2016に参加  東京純心大学との協働に調印	*熊本大地震発生 *リオデジャネイロオリンピック開催 *大隅氏ノーベル賞受賞

八王子センター元気20年のあゆみ

年	八王子センター元気のできごと	世の中のできごと
2017年 平成 29年	*開設15周年記念イベント実施 *市100周年事業NPOフェスティバルに参加 *八王子介護フェアを支援(加住市民センター)  NPOフェスティバル	*八王子市市制100周年 *九州北部豪雨発生 *藤井4段、29連勝達成
2018年 平成 30年	*第1回 傾聴ボランティア初心者スキルアップ講座開催 *鈴木久夫氏代表に就任 *大横保健福祉センターまちなか避暑地に協力 *高齢者ボランティアポイント制度から技能ボランティア5名が表彰  大横保健福祉センター まちなか避暑地	*築地市場が83年の歴史に幕 *TPP11協定発効 *本庶氏ノーベル賞受賞
2019年 令和 元年	*東京都社会福祉協議会会長表彰受賞 *東京純心大学の授業に協力 *八王子NPOフェスティバルをコーディネート  東京都社会福祉協議会表彰受賞	*新天皇即位「令和」に改元 *沖縄首里城焼失 *中国武漢市で新型コロナウイルス感染症発生 *吉野氏ノーベル賞受賞
2020年 令和 2年	*横山普平氏代表に就任 *コロナ感染症対応として業務を縮減(会議・イベントの中止、コーディネート活動・ボランティア活動の休止、広報紙「げんき」の休刊、事務所開設日の縮小など) *東京純心大学のオンライン授業に講師として参加  コロナ禍の中、シニア元気塾 半年遅れで終了	*英国、EU 離脱 *新型コロナウイルス感染症で小、中、高が休校に *WHO「新型コロナウイルスパンデミック」宣言
2021年 令和 3年	*7月から「拓け！センタ元気」を除く全事業を再開 *7月以降、役員会は通常開催に、定例会は隔月に変更 *東京純心大学のオンライン授業に講師としてZoomで参加  東京純心大学オンライン授業に参加	*新型コロナワクチン接種開始 *1年延期の東京オリンピック開催 *大谷翔平、米メジャーリーグでMVP *真鍋氏ノーベル賞受賞



八王子センター元気活動紹介(全体)

活動内容

八王子センター元気は、八王子市の委託を受けて高齢者の社会参加によるいきがづくりを支援するボランティア団体です。

主な事業は貴重な経験、特技などをもつ「技能ボランティア」と、それを必要とする「地域の人びとや団体」をつなぐコーディネート事業です。

この目的を達成するためコーディネート事業のほかに、ボランティアやコーディネーター希望者を募集し育成するための事業、技能ボランティアの受け入れを希望する利用者の開拓事業、技能ボランティアの技能を開発し向上させるための事業、センター元気の活動や技能ボランティアのパフォーマンスをPRし活動全体を広報するための事業などを行っています。

これらの具体的活動は9つの部門が分担して行っています。その内容を14ページ以降詳しく紹介いたします。初めにセンター元気の諸活動を下支えしている活動を紹介いたします。

事務所運営

事務所は大横保健福祉センターの3階にあり、平日の午前10時から午後4時まで、当番2人が業務を担当しています。

業務は技能ボランティアを利用者に紹介する「コーディネート活動」が中心であり、電話や来客の応対、資料等の整理整頓など事務所の管理全般を行っています。

事務所には活動部門の担当者が常駐しているわけではありませんので、色々な申し込みや問い合わせなどを受付・調整する当番の機能はとても重要です。それだけにコーディネーター研修を受け、実習を経験した人が当番にあたります。

このように事務所当番は、実務を通してコーディネーターとしてまたボランティアとして成長できる大切な機会となっています。

とは言っても親しい友人とペアで当番となって友情を深めたり、ボランティア活動の情報交換をしたりと有意義な時間に活用している様子も見られます。

定例会

定例会はコーディネーター全員を構成員として月1回開催され、年度ごとの活動方針や予算をはじめとする重要案件の審議決定を行っています。

また代表や各部門の報告を通じて構成員間の情報共有も図っています。久しぶりに顔を合わせるコーディネーターが仲間の健康や近況を確認する場にもなっていて、構成員にとっては待ち遠しい会議となっています。

ときには技能ボランティアをお招きして、素晴らしいパフォーマンスを鑑賞するとともにコーディネート活動の一助になるよう企画されています。

役員会

役員会は代表を始めとする全役員を構成員とし、月1回開催されます。ここでは定例会で決定された活動方針の具体化が検討されています。

日常的には各部門担当の役員から活動の進捗状況が報告され、役員間の情報共有を進めるとともに、必要に応じて部門相互の連携を促進し、計画行事のスムーズな開催に繋がっています。

役員は定例会で選任されますが、選出過程では推薦候補アンケートなども取り入れています。

部門会議

活動部門は9部門あり、会計と事務局はセンター元気の運営全体をサポートしていますが、他の7部門は講座や懇談会の開催あるいはイベントの実施など具体的な活動を展開しています。

部門会議は適時開催され、部門メンバーが集まり担当行事の実現に向けて話し合います。

また大きなイベントでは事前の準備段階から部門の垣根を越えて助け合っています。

動画での活動紹介

「八王子センター元気」の活動内容をYouTubeでご覧になるにはこちらから



八王子センター元気活動紹介(部門別)

事務局・会計担当部門

事務局担当部門は①事務所運営の当番者の調整②コーディネート用の登録者名簿の管理③活動実績の各種データ管理④パソコンのネットワーク化による効率的運用⑤事務機器の管理や必要品の補充、文書管理、事務所内の環境整備などセンター元気の諸事業の円滑な推進のために活動しています。

会計担当部門は、事業に伴う収入支出金の管理や内容を明らかにするための帳票類の整理、その他物品の管理を行っています。スタッフ一同それぞれの持ち場で過去の経験や創意工夫のもと活動をしています。



研修担当部門

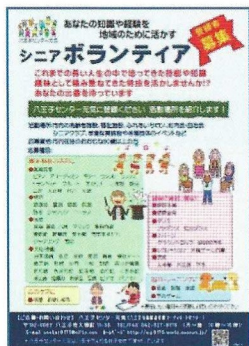
研修担当部門はシニア元気塾ボランティア入門講座とシニア元気塾コーディネーター養成講座の企画運営を担当しています。ボランティアとは？コーディネーターとは？などを学ぶとともに、仲間づくり、地域での居場所・出番の確保、シニアの健康維持に役立つカリキュラムを心がけています。受講生が仲間と共に楽しく活動できる場として、両講座修了後の同期会作りをサポートしています。まさに地域へ飛び出すその一助になるものです。

その他コーディネーター向けのスキルアップ研修も企画し新人育成に力を入れています。



開拓担当部門

開拓担当部門は①長い人生で培ってきた技能や知識、趣味などの特技を生かして高齢者施設等で活動していただくボランティアの発掘と登録②その技能ボランティアをご利用いただける高齢者施設を始め福祉施設、自治会、町内会、シニアクラブ等の発掘を主な活動としています。また、③八王子市や関連団体が開催するイベントへ参加してのPR活動や④コーディネート活動がスムーズに行えるよう、定例会などで技能ボランティアのパフォーマンス披露を企画しています。



傾聴・技能ボランティア活動支援担当部門

傾聴・技能ボランティア活動支援担当部門は①技能ボランティアの活動状況把握②ボランティア活動のコーディネート③傾聴ボランティアのスキルアップ講座の企画・運営④ボランティア活動に関する相談等の活動を実施しています。傾聴ボランティア研修会では、スキルを高めるための講演会や情報交換と親睦を深めるためのグループワークを実施。また、技能ボランティアと利用者それにコーディネーターの三者間の活動が円滑に図れるように三者懇談会を開催しています。



八王子センター元気活動紹介(部門別)

養成講座担当部門

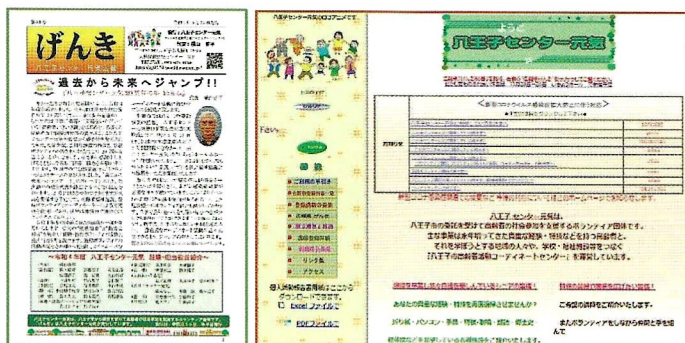
養成講座担当部門は楽しく身につくボランティア養成講座と、傾聴ボランティア養成講座を企画・運営しています。高齢者の社会参加を呼びかけ技能を身につけていただく事を目的としています。傾聴は「相手が主役、聴く力を養い、心を傾け、心で聴く」を合言葉にボランティアを養成します。また楽しく身につく講座は約1年をかけて技能を習得します。施設ご利用の皆様に活気と笑顔を運び、それが自身の生き甲斐となり元気をいただいています。養成講座は高齢者に学びの場と活動の場を提供しています。市の“ボランティア・ポイント制度”や“てくボ”のポイント対象となっています。



広報担当部門

広報担当部門は八王子センター元気を取り巻く関連情報を収集し、役に立つ情報を定期的(奇数月、年6回)に発行する広報紙「げんき」及びホームページを主な手段として発信しています。常に“分かり易く”“見やすく”“タイムリーに”を心掛けて活動しています。

また、センター元気の活動紹介や各種イベントの案内チラシやDVD、YouTubeなど映像媒体での情報発信も行っています。



ふれあい作品展担当部門

ふれあい作品展担当部門は「むかし若ものふれあい作品展」を企画・開催しています。施設のご利用者が作成された作品を公開展示する場として毎年11月に開催しております。施設での日々の活動の中で一人ひとりが手作りで作成された作品には、皆様の持ち味が込められております。市内の各施設から参加をいただき作品展に集結した数々の作品を見比べ、感動を得た作品から次回に向けての作品作りのヒントを得る機会ともなっています。



拓け！センター元気担当部門

拓け！センター元気担当部門は毎年「拓け！センター元気」のイベントを開催して、登録ボランティアの技能を紹介しています。提供できる技能の種別は50種目を超え、毎年その中から様々な技能を舞台でのパフォーマンス披露やロビーでの作品展示で公開し、高齢者福祉施設関係者の皆様に始め多くの市民の皆様にご覧いただくことによりボランティア活動の受け入れ等の参考にして頂いています。また当日の様子は、終了後も八王子センター元気のホームページよりYouTubeでご覧いただけます。

